

第4回 『科学・技術とヒューマニティ』

懇話会テーマ

＜ビッグデータと人工知能、人と社会に向き合うロボット工学＞

ー科学・技術の意思決定に関心のある方々のためにー

2014年から始まりました「科学・技術とヒューマニティ」セミナーは、おかげさまで毎年好評を博しております。2017年度も第4回「科学・技術とヒューマニティ」を企画しました。

今回は、「ビッグデータと人工知能、人と向き合うロボット工学」と題した懇話会のテーマに取り上げ、昨年度とはまた異なるセミナーの実施要項がまとまりましたので、ご案内申し上げます。セッションのテキストを含めて、広く科学・技術に関心のある方が対象となりますので、ぜひともご参加をご検討下さいますようお願い申し上げます。



プログラム・ディレクター

村上陽一郎 先生

東京大学名誉教授（科学史家、科学哲学者）
一般社団法人日本アスペン研究所副理事長

【開催日】 2017年5月19日（金）～5月21日（日）

【会場】 クロス・ウェーブ府中
〒183-0044 東京都府中市日鋼町 1-40
<http://x-wave.orix.co.jp/fuchu/>

【科学・技術とヒューマニティ・セミナーの企画の背景】

「エグゼクティブ・セミナー」、「ヤング・エグゼクティブ・セミナー」の卒業生から、「古典に学ぶ」対話の次の段階を求める声も多く聞かれます。本セミナーは、そのような皆さまからの要望に応えると共に、過去のアスペン・セミナーに参加しておられなくても科学・技術の意思決定に関わる立場の方々を意識して構成した全く新しいセミナーです。

【第4回の展望】

これまで国内でも、海外でも、AIを巡る幾つかのブームがあり、転機がありました。その中には、通産省主導の失敗作と言われる「第五世代コンピュータ」プロジェクトもあります。現今、囲碁や将棋で、「電腦」が人間を超える、あるいは越えたと騒がれますが、人工物が、人間の特定の能力を凌駕するのは、遙か昔からのことで、そうでなければ、人工物を生み出す意味さえなくなります。しかし、それが思考や感覚の領域になって、人間は、あの「魔法使いの弟子」のように、いささか困惑しているようでもあります。こうした事態を整理し、将来への道筋を見出すには何が必要か、皆で考えてみようではありませんか。

(村上 陽一郎 先生 記)

【対象】 企業、行政、NPO など広い分野から、役員・管理職・次世代のリーダー候補の参加者を募ります。ただし対話という性質上、**原則 20 名**を限度とさせていただきます。

【スケジュール】(予定)

	1 日目 5月19日(金)	2 日目 5月20日(土)	3 日目 5月21日(日)
朝食			
午前の部	11:00~12:20 オープニングセッション 自己紹介 オリエンテーション	8:30~12:00 セッションⅡ 「デモクラシー」	8:30~12:00 セッションⅢ 「科学・技術と社会」
昼食	13:00~16:35 セッションⅠ 「ヒューマニティ」	13:00~14:30 オープンカフェ 14:30~16:30 自主研修	13:00~15:30 総括セッション
午後の部	16:50~18:50 懇話会Ⅰ	16:30~18:30 懇話会Ⅱ	
	19:00~21:00 レセプション	19:00~21:30 夕食 懇親会	

【懇話会Ⅰ】 講演者： 西垣 通 氏（東京大学名誉教授、東京経済大学コミュニケーション学部教授）



東京生まれ。1972年東京大学工学部卒業、日立製作所入社、客員研究員としてスタンフォード大学に留学。

1982年、東京大学で工学博士を取得。1986年明治大学法学部助教授、1991年明治大学法学部教授を経て、1996年に東京大学社会科学研究所日本社会研究情報センター教授。2000年東京大学情報学環教授。2013年退任、東京経済大学コミュニケーション学部教授。著書

に1991年、『デジタル・ナルシス』でサントリー学芸賞（芸術・文学部門）受賞。その他、『ビッグデータと人工知能』2016（中公新書）など多数。

講演題目：「ビッグデータ型人工知能とは何か」

要旨： 人工知能（AI）への関心や期待が国内外で急速に高まっている。日本でも昨年、政府主導で人工知能戦略技術会議がつくられ、産官学が一体となってAIやロボットの研究開発を進める計画がある。それによる経済成長が目論まれているのだ。ブレイクスルーをもたらしたのは深層学習という技術であり、そこでは脳のようなニューラルネットワーク・モデルが用いられている。やがてAIの能力が人間をしのぐというシンギュラリティ仮説もささやかれている。だが、AIとはそもそも何だろうか。それはいわゆるビッグデータとどういう関係にあるのだろうか。AIを真に活用する方策について考える。

（西垣 通 氏 記）

【懇話会Ⅱ】 講演者： 古田 貴之 氏（千葉工業大学常任理事、未来ロボット技術研究センター所長、工学博士）



2000年、(独)科学技術振興機構 ERATO 北野共生システムプロジェクトにロボット研究グループリーダーとして所属。2003年より現職。2014年より学校法人千葉工業大学常任理事を兼務、現在に至る。移動ロボットの自動操縦競技会「つくばチャレンジ」では参加団体で唯一、3年連続完走&つくば市長賞受賞。福島第一原発で唯一全フロア踏破可能な災害対応ロボットを開発・提供。政府の原発冷温停止ミッションを遂行・成功させた。

2015年4月には「未来の乗り物”ILY-A（アイリーエー）」を発表、モビリティを再定義しあたらしライフスタイルを提案した。ILY-Aは、イタリア「ミラノデザインウィーク 2015」に出展し世界的に話題になった。ILY-Aは、2015年 Good Design 賞、2016年、ドイツのiF design award

賞、受賞。内閣府・首相官邸の改革 2020 プロジェクト：「プロジェクト3：先端

ロボット技術によるユニバーサル未来社会の実現」を提案し政府の重点施策として推進。「ユニバーサル未来社会推進協議会」では副会長を務め、2020年東京オリンピックでのロボット技術応用実装を目指す。

講演題目：「人と社会に向き合うロボット工学」
（原発ロボット、東京オリパラ2020プロジェクトとその先の未来）

要旨： どのような革新的ロボット技術や機器を開発しても、未来は創れない。技術や機器はあくまでツールであり、その開発行為自体は目的とはなりえない。人と社会の未来を創ることを真に目的とするならば、先端技術を用いて「どのような明るい未来を創るか」こそが重要なテーマである。本講演では福島第一原発でのロボット開発を例とし、技術を社会実装する手法に関し、経験から得られた知見について解説を行う。さらに東京オリンピックパラリンピック2020内閣府・首相官邸プロジェクト「改革2020」を例とし、未来社会のグランドデザインを描く方法とその実現・実行手法について解説する。技術も社会も人のために存在し、そしてそれを創るのもまた人である。未来を開拓するチームの作り方、人の育て方の経験談なども述べることにする。

（古田 貴之 氏 記）

【モデレーター】

村上 陽一郎 先生 （東京大学名誉教授）
渋谷 治美 先生 （埼玉大学名誉教授）

【リソースパーソン】

荻野 弘之 先生 （上智大学文学部教授）
高山 千弘 氏 （エーザイ株式会社執行役員、知創部長）



渋谷先生



荻野先生



高山氏

【テキスト】 カント『啓蒙とは何か』／リッケルト『文化科学と自然科学』／ホワイト『機械と神』／シャルガフ『ヘラクレイトスの火』／プラトン『国家』／トクヴィル『アメリカのデモクラシー』／オルテガ『大衆の反逆』より「専門家の野蛮性」／福沢諭吉『学者の職分を論ず』／ウェーバー『職業としての政治／職業としての学問』／スノー『二つの文化と科学革命』／シュレーディンガー『生命とは何か』／ブッシュ『科学—この限りなき前線』／モノー『偶然と必然』／小林傳司『トランス・サイエンスの時代』

以上の作品からそれぞれ抜粋した全14テキスト

※テキストは本セミナーのために厳選しましたので、他のセミナーのテキストとは異なります。

【参加料金】 会員企業 : 27万円/人
 賛助会員企業、FIDP 会員 : 29万円/人
 非会員企業、非FIDP 会員 : 31万円/人
 (各税込)

【お支払方法】 参加確定後、請求書をご送付いたします。請求書に記載の期日までにお振込みください。

【テキスト送付時期】 3月中旬～下旬を予定

【キャンセルについて】

お申込み後キャンセルされる場合につきましては、以下のとおりキャンセル料金を頂戴いたしますので、ご了承ください。

【キャンセル料金】

参加確定後	¥30,000 (税込)
セミナー開催 7 日前～開催 2 日前 (開催日初日を含まず起算)	参加料金の 3 割 (税込)
開催日前日および開催日当日	参加料金の 5 割 (税込)

※ 参加ご希望の方は、添付の申込書にて、必要事項をご記入の上

FAX: 03-3405-1668 または電子メール mimura@aspeninstitute.jp にて

2017年3月15日(水)までにお申込み下さい。原則定員 20 名とさせていただきます。

参加の可否につきましては、申込み締切後にご連絡致します。

※ 本ご案内は、会員企業と過去のアспен・セミナー参加者の皆さまにお送りしておりますが、どなたでもご応募いただけます。

※ 万が一お申込み多数の場合は、会員企業からの派遣を優先させていただきます。

※ また、同一企業からのご参加は、人数を制限させていただく場合がございます。

詳しくは日本アспен研究所セミナー事務局に、できればメールにてお問い合わせください。

一般社団法人日本アспен研究所 (三村)
 〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル2階
 TEL: 03-6438-9208
 E-mail: mimura@aspeninstitute.jp / FAX: 03-3405-1668